



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**44**号

平成22年1月20日

河津町議会だより



来宮神社初詣

主な内容

- 新年のごあいさつ..... 2 P
- 町長の行政報告..... 3 P
- 平成21年第4回定例会（要旨）..... 4 P
- 一般質問..... 5～8 P
- 視察研修報告 他..... 9 P
- 議会の動き、私も一言..... 10 P

明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひ申し上げます

2010年 元旦



年頭の挨拶

河津町議会議長 相馬宏行

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては平成22年の新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。昨年を振り返りますと南伊豆地区1市3町合併協議が26項目にわたる協定項目の承認、確認がされながらも「廃置分合」の議決において2町の議会が否決し破綻。当分の間自立の道を歩むことになりました。合併を推進した当町にとつては残念な事でありましたが、議会の議決の重き又議員の責務を改めて感じたところであります。

合併の道は閉ざされたわけではありますが、少子高齢化、過疎化が進む社会情勢やそれに伴う税収減少など町財政の厳しさなどを考慮しますと広域での行政運営が求められると考えます。

議員の定数が昨年12月定例会議員発議によって1名減の11名となりました。今年秋行なわれる予定の一般選挙から施行されます。地方自治における議員の職責の重さが増し、今まで以上に重大な使命を持つ立場になります。「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を完全に達成できる様、議員一丸となって懸命に努力する所存でありますので、町民の皆様へのさらなるご指導とご協力を頂くことをお願いし、新年の挨拶といたします。

平成21年

第4回定例会

(抜粋)
12月14日、15日

町長の行政報告



平成22年度予算編成

南伊豆地区1市3町の合併協議が不調に終り、単独での行政運営を進めるにあたり国県の特典財源の確保に努めると共に、節減及び合理化など、町民の視点に立った行政運営を進める。

南伊豆地区1市3町合併協議会

9月の1市3町の議会で全ての廃止議案が可決され、4首長による合併協議書の廃止に関する協議書が締結され10月13日付で県知事に届出し正式に解散。

風力発電事業建設工事

風力発電工事は、東京電力(株)と(株)ユーラスエナジー東伊豆が計画、本町上佐ヶ野、見高及び東伊豆白田にかかる三筋山山頂部に、風車21基、変電所1箇所を建設。

定額給付金事業

給付総数3,309世帯、1億3,044万4千円の内世帯数99%、金額で99.6%の給付、子育て手当ては、88世帯93人に支給。

河津町表彰式

本年は、ふれあい祭り、国文祭河津町主催事業と同日開催、6名1団体を表彰。

地域防災訓練

12月6日に地域防災訓練を実施、中学生143名、高校生146名を含む2,128名が参加。

上河津診療所開設

無医地域になった上河津地区(旧稲葉医院)に、地域医療振興協会(共立湊病院)の協力により平成22年1月12日に開業。

消防ポンプ車購入

第7分団のポンプ車が17年を経過し1,854万3千円で(株)島山ポンプと契約した。

新型インフルエンザ対策

国、県の情報を速やかに捉え、必要に応じ町民の皆様様に早急にお知らせする。

観光宣伝事業

1市3町の共同宣伝事業、9月18日～10月1日までJR武蔵小杉駅で、10月15日～30日までJR品川駅で誘客宣伝、10月31日～11月1日渋谷の区民広場で地場産品販売、誘客宣伝を実施、JR横浜駅で温泉と花いっぱいキャンペーンで河津桜まつりの宣伝を実施。

秋のイベント

本年から河津七滝周辺で、もみじ祭として開催。11月23日には、伊豆天城路伊豆の

踊子ウォーキングを実施、250人の参加者があった。

観光施設の利用状況

バガテル公園11月末までの入園状況は、78,022人、前年比92.2%、国民宿舎「かわづ」の利用状況は、6,356人、前年比109.2%、温泉会館の利用状況は、両施設で65,453人、前年比99.6%であった。

観光施設整備関係

観光交流館建設は10月17日に上棟式を実施、雨の中記念投餅を実施。施設の名称は、町内外から132件の応募、厳正なる審査の結果、河津桜交流館と決定。河津桜並木整備工事は、(株)オー工房が1,130万8,500円、観光案内看板設置工事(梨本)は、(株)富士見園が294万円で、同工事(浜)は信建工業(株)が236万2,500円でそれぞれ落札し契約した。

道路新設改良工事

町道奥原1号線拡幅工事、4,336万5,000円で、東海建設(株)が落札。

国民文化祭河津町主催事業

第24回国民文化祭が11月1日～2日に河津バガテル公園で開催された。

静岡県市町村駅伝大会

12月5日に開催され、町の部で14チーム中8位の立派な成績をおさめた。

平成21年 条例の制定・改正 第4回定例会 及び補正予算など

同意第4号
固定資産評価審査委員会委員の選任について
谷津298番地の1
久保田幸彦氏（再任）に同意。

議案第77号
河津町観光施設の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例について
観光施設に河津桜観光交流館を加える。

議案第78号
河津桜交流館の指定管理者の指定について
指定管理者を河津町観光協会に指定する。

議案第79号
河津町観光交流館建設工事変更請負契約について
契約金額を22,411千円増

額変更する。

議案第80号
南伊豆地区広域市町村圏協議会の廃止について

議案第81号
静岡県地方税滞納整理機構規約の変更について

議案第82号
平成21年度河津町一般会計補正予算（第5号）
歳入歳出予算の総額に13,996千円を追加し、総額をそれぞれ3,997,881千円とする。

議案第83号
平成21年度河津町介護保険特別会計補正予算（第4号）
歳入歳出予算の総額に359千円を追加し、総額をそれぞれ679,907千円とする。

議案第84号
平成21年度河津町水道事業会計補正予算（第3号）
収益的収入を3,200千円、支出を4,436千円増額し、総額を185,798千円とし、資本的支出を6,175千円増額し総額を128,826千円とする。

議員発議による意見書

発議第4号
河津町議会議員定数条例の一部改正について
次の一般選挙から議員定数12人を11人に改める。

発議第5号
河津町議会広報編集特別委員会設置に関する決議について

平成21年度学校ICT環境整備事業地上デジタルテレビ購入契約について

●**議案第73号**
平成21年度河津町一般会計補正予算（第4号）

●**議案第74号**
平成21年度河津町介護保険特別会計補正予算（第3号）

●**議案第75号**
平成21年度河津町水道事業会計補正予算（第2号）

●**議案第76号**
平成21年度河津町温泉事業会計補正予算（第2号）

平成21年 河津町議会臨時会

◇第5回臨時会◇

10月14日に開かれた第5回臨時会は以下の議案を可決した。

●**議案第67号**
平成21年度消防ポンプ自動車（第7分団）購入契約について

●**議案第68号**
平成21年度地方特定道路整備事業町道奥原1号線道路拡幅工事請負契約について

●**議案第69号**

平成21年度河津町一般会計補正予算（第3号）

◇第6回臨時会◇

11月27日に開かれた第6回臨時会は以下の議案を可決した。

●**議案第70号**
河津町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について

●**議案第71号**
平成21年度町有マイクロバス購入契約について

●**議案第72号**

一般質問

単独の町づくり、予算面から経済活性化を 町長—町おこしは観光と農業の結びつきを原点として

質問... 予算面からも経済の活性化対策が大事だと思うが、22年度予算はどのようになるのか。合併は破綻したが、財政面からも、今まで以上に市町の連携が必要と思うが市町間の連携をどう考えるか。

町長... 22年度予算編成では、徹底的に経費節減を図るが、福祉関係については、お産の費用として、今は42万円出ているが、町独自で更に10万円の補助を考えている。

風力発電の残土処理、5条の申請が必要ではないか

産業振興課長—農地の所有者が自分の意思で実施するという考え方で

質問... 残土処理はすべてパイロットの中で処理するとの事だが、はじめ2箇所申請が5箇所になり、再び2箇所になったと聞くがどうか。許認可の関係はどうなっているか。風車の償却は17年で、その後は原状に戻すとの事だがどこまでやらせるのか。

建設課長... 残土処理は初めから2箇所5箇所への変更申請は出ていない。許認可は林地開発行為は許可済みだが、保安林解除は現在進行中である。

副町長... 事業を廃止した時は、原型復旧し、防災対策等をとる事になっているが、最終的には町と話し合った



桜まつりを前に完成間近な観光交流館



山田 勇 議員

上で決める。

質問... 残土処理はその目的からも、農地法の5条の申請が必要ではないか。

産業振興課長... 農地の所有者が耕作の為に、そこで出た土を、地権者の意思で入れてもらうという見解だ。雛のつるし飾り、果たしてオープン展示として適当か

町長—時間の関係で東伊豆まで行けないバスのために

質問... 展示室のオープン展示が雛のつるし飾りと聞くが、果たして雛のつるし飾りがオープン展示に適当か。販売手数料が出荷物によって違うがどうしてか。

町長... 雛については時間の関係で東伊豆まで行けないバスもあるとの事からやった。

産業振興課長... 販売手数料については、農産物が15%だ。土産物は35%で大量生産が出来る物である。雛については、東伊豆のつるし雛をPRしながら、河津桜も東伊豆の方でPRしてもらう事を考えている。

中国：東山との交流はどうか

町長－議員の橋渡しで積極的に！ 補正予算も組む

質問...インバウンド対策を念頭におきながら、小中学生の交流を含め町民レベルの中身の濃い国際交流として、中国の蘇州市近く、伊豆半島と似た温暖な気候の東山と交流はいかがか。
町長...東山の幹部の方々の

河津町議会に対する歓迎の心を耳にし、議員の橋渡しで、静岡空港を活用すべく、補正予算を組み積極的に。新年早々にでもこちらから出向いて、交流の話し合いが大事。



東山鎮庁舎で陸書記以下幹部と意見交換

町営施設等の運営改善は

町長－環境厳しいが そのまま継続

質問...サンシップ今井浜は老朽化が目立ち、毎年大きな赤字で今後の維持管理費の増加が心配、いかに運営改善、立て直しは。バガテルは平成19年度決算で繰越損失額が6,500万円余り、20年度は施設使用料2,200万円減免し、なお700万円の赤字。21年度の財務内容と今後の施設使用料の減免しなければ経営が成り立たないか。

町長...温泉会計にも使用料を入れている。町民の福祉、観光の施設としてもやるべき。バガテルは伊豆縦貫道、第二東名等今後の交通網の充実を考えればプラスになる。観光客が減少し、環境が厳しいが、すべてダメといたら沈没する。
産業振興課長...サンシップ今井浜は、17、18、19年度は毎年約1,700万円、20年度も2,136万円赤字だが温泉料、水道料合わせて約1,500万円企業会計に納めている。
質問...平成16～20年度の5年間で8,730万円の赤字。



宮崎啓次 議員

以前露天風呂のみの時は500万円の黒字。サンシップは温泉、水の使用量も現在の半分は消費する露天風呂で充実し、施設改修して、指定管理者の形にすべきでは。
町長...民宿の高齢化の中、閉鎖するところもあるが、地域の拠点、雇用の面でも多少赤字でも継続すべき。

交通弱者対策は

町長－東海バスとの 関係で模索中

質問...福祉バスの観点から、デマンドバス等、交通弱者対策の進捗状況は。タクシー補助券などの検討は。
町長...東海バスとの関係もあり、模索している。障害者の1級、2級の方はタクシー初乗り券を年間24枚支給している。
総務課長...デマンドバス運行を路線バスと平行して動かす場合、バス会社、タクシー協会の入った地域公共交通会議で了承が得られればできるが、バス路線の減少や稲取営業所の閉鎖も視野に協議、検討していく。

宝 カワツザクラの現状と健康上の課題！

町長－町の宝をもっと充実、発展させ、 植栽に取り組む

質問...河津桜の成長は歴史も浅く原木ですら60年しかたっていない。原木は今も元気だが環境の不十分な中で生育しており、今後原木に対しての具体的な保護対策はなされるか。

町長...原木は厳しい環境下にある。移植するのは大変な問題である。今後下佐ヶ野、浜線の道路が出来ればチャンスである。

産業振興課長...数年前移植等の問題もあったが、現状では頓挫している。

質問...河川敷の土手に植栽されている桜の治水上の問題点は。

産業振興課長...河津桜維持管理推進委員会を立ち上げ、大堰から浜までの区長、観光協会、商工会、町と土木事務所で行動計画を策定中、今年度中に整備をしていきたい。

質問...原木、町内8,000本の河津桜を守る桜守グループを立ち上げる考えは。



浜350t温泉タンク改修工事

産業振興課長...町主導のボランティアでなく地域からの発展したグループの形が一番望ましいかと思う。その活動については協力する。

水道事業について

町長－泉奥原水源確保、 大堰浄水場改修

質問...水道事業変更計画が策定された。主な内容は泉奥原水源活用と大堰浄水場改修計画であると思うが。

町長...上佐ヶ野、梨本地区を除いた全地域の上水道認可をスタートしているなか奥原水源の確保が一番のポイントになると思う。

質問...大堰浄水場の改修計画は何年ごろか、事業費は。

町長...大堰の浄水場が心臓部であるので、やりかえなければと思う。工事費は5億数千万円かかると思う。

建設課長...大堰の浄水場の改修工事は、平成22年度に測量設計予定、23年度、24年



吉田重好 議員

度の2ヶ年で建設工事実施、25年に移転計画、事業費は5億7,000万円、財源は30年償還の企業債を借り入れる計画。

質問...水道料の値上げは想定されているか。

町長...値上げは考えていない。

温泉事業について

町長－町民の健康、 福祉、観光面に 寄与している

質問...平成28年以降も温泉給湯事業を継続するか。

町長...花と温泉の町ということで、健康、福祉、観光面で大きく寄与しているのでやるべきと思う。

質問...今後の改修計画、財政計画は。

町長...浜の350tタンク改修費1億3,000万円投入、峰のタンクも改修は配管等含め2億5,000万円位改修費が必要。

質問...給湯の加入金については加入時期により、更新時に差をつけてはと思うが。
町長...地域によって差はあるが、検討する。

国際交流と産業振興は

町長－インバウンド対策に取り組む

質問...国際交流は前向きだが研修生の受け入れは。観光入り込み客の増加策として甲殻類の無料提供は。
町長...国際交流はインバウンド対策に取り組む。研修生の受け入れは旅館等受け入れ側の財務内容に問題がある。甲殻類の提供は個々の旅館が努力しているのでイベントの実施が良い。
質問...踊り子温泉会館で踊

り子のテレビ上映やイベントはどうか。温泉熱を利用した産業対策は。そして定額給付金 1 億3,044万円支給されたが経済効果は。経済対策は財源あるなしでなく経済の上向き対策を。
町長...映画祭は良いのでは。温泉熱の利用は農業者の計画相談あれば援助したい。給付金は個々の消費に回っていると思う。

総合計画の策定は

町長－救急医療の充実を

質問...過去の計画の総括と反省は。基本計画、基本構想だが、整備計画が必要だ。町の中心部と周辺集落は生活環境が異なるので要望も違う。現在策定されている計画との整合性は。
町長...平成3～12年の「緑と清流と紺碧の映える町」、平成13～22年までの「自然が映えるホットな町」の目標

を定め、災害復旧、観光、道路関係、庁舎建設、給食センター等建設に取り組んだ。今後は救急医療の充実が課題。
質問...この計画の策定委員は各地域の方々を委員に、幅広く産業、環境、教育の意見を求めたら。又計画には市町合併を視野に。大鍋松崎線林道も未着工では。
町長...大鍋松崎線は松崎齊藤新町長と前向きに話した。単独の町づくりの方向だ。総合計画の策定には町



小・中学生の交流授業



土屋 衆太郎 議員

民の代表も選任する。
質問...伊豆は一つの認識で観光の共同事業進めるべき。大鍋入り口の国道414号は道幅狭く危険、早期工事の陳情すべきでは。
町長...河津桜のような観光の目玉が必要。道路拡幅は何十年と陳情をしている。
総務課長...4次総合計画については3次の計画を踏襲する。新たな行政需要、町民意識の多様化を把握し、計画に反映する。

教育のあり方は

教育長－交流で不安なく通園通学

質問...新入生が不安なく通園通学するには学年間の交流が大事では。インフルエンザの学童への対応は。
教育長...インフルエンザは学級閉鎖もあったが、現在8名。小中学校での入学後の不適應、不登校はない。地域と学校の連携、保護者同士のつながり等の要素が良い結果。幼稚園と小学校で交流会、中学校から小学校への出前授業がある。

議会視察研修レポート (平成21年11月30日～12月1日)

群馬県：一般廃棄物最終処分場と草津町訪問

草津町視察1日目は、わが町が焼却灰の処理委託をしている「新草津ウェイストパーク一般廃棄物最終処分場」を視察した。この施設は平成4年から民間会社が運営し、98団体が最終処分地として使用、河津町も年間約560tを委託処理している。又、草津町、委託している98の市町、それに処分場が三者間公害防止協定を



建設中の最終処分場

締結し、草津町と共同管理をしている。運搬については自社車両のみで行っている。現在新しい処分場を建設中で平成22年4月から平成32年まで運用出来るとのことだった。環境保全対策も万全をつくす企業努力が感じられた。

2日目は草津町役場を訪問し、議会運営、合併しない町づくり、観光事業等について、中澤町長、黒岩議長をはじめ、町、議会関係者との意見交換を行った。草津町は面積49.74km²、人口7,200人の町である。産業別人口割合は、第2次、第3次産業で98%以上で温泉観光の町である。財政力指数は0.98である。議会議員



草津町との意見交換

は12名で総務観光、民教土木の2つの常任委員会と2つの特別委員会がある。会議は委員会中心としている。町村合併については、合併によるメリットがあるか、ないかの判断を基として合併しない町づくりを選んだ。市街地には32ヶ所の湧出源泉があり、温泉を中心とした観光地づくりに取りくむ草津町を見た。(萩原)

一部事務組合議会報告

東河環境センター
組合議会

10月13日東河環境センター議会、第2回定例会が開かれた。平成21年度補正予算(第2号)平成20年度決算認定の2議案について審議し、いずれも可決、認定した。20年度決算では、歳入6億7,342万4,160円、歳出6億3,342万0,006円、差引残額4,000万4,154円。21年度補正予算では歳入歳出それぞれ536,000円を減額し、予算額を6億6,285万

9,000円とする。減額はアルミ缶の値下げが主な原因。その他の議案では平成20年度東河環境センター会計決算審査意見書、財産に関する調査が審議された。平成20年度のゴミ処理の実績は総量で13,441t河津町が4,164t(30.98%)、東伊豆町が9,277t(69.02%)し尿処理については総量で11,652kl(河津町4,850kl、41.62%)、東伊豆町6,802kl(58.38%)であった。

共立湊病院組合議会

新病院の運営主体となる指定管理者聖勝会が辞退し病院を運営する者がいなくなった今、運営会議(各市町の首長で構成)では次点の病院を依頼することを決議した。

共立湊病院組合議会(1市5町の議員各2名、全12名で構成)では、百条委員会を設置し辞退の理由を明らかにすると共に、2度とこのような事がないようにし、南伊豆地区に於ける医療の確立を目指すことを確認した。



相馬 宏行 議長

議長の諸般の報告と議会の動き

- 9月17日 風力発電起工式
(見高)
- 9月18日 交通安全対策委員会街頭広報
(伊豆急駅前)
同日、県町村議会議長会に出席
(静岡市)
- 9月19日 中学校運動会
- 9月24日 駅前広場運営協議会(役場)
- 9月26日 西小学校運動会
- 9月28日 賀茂地区身障者スポーツ大会
(東伊豆町)
- 9月30日 国民文化祭町実行委員会(役場)
- 10月1日 伊豆柑橘振興協議会総会
(東伊豆町)
- 10月4日 町民大会
- 10月8日 議会広報委員会
- 10月14日 町議会第5回臨時会
- 10月17日 町観光交流館記念イベント
- 10月23日 郡議会議員研修会
(南伊豆町)
- 10月24日 第24回国民文化祭開会式
(静岡市)
- 11月1日 河津ふれあいまつり

- (笹原イベント広場)
- 河津町表彰式
(役場)
- 国民文化祭オープニング
(バガテル公園)
- 11月5日 戦没者招魂祭
(福祉センター)
- 11月13日 河津町社会福祉大会(役場)
- 11月14日 河津会総会
(東京都)
- 11月18日 風力発電現地調査
(三筋山)
- 11月22日 峰大噴湯祭り
(峰噴湯公園)
- 11月22日～23日 町民文化祭(南小)
- 11月23日 第5回踊り子文学祭
(湯ヶ野)
- 11月26日 賀茂地区社会福祉大会(下田市)
- 11月27日 町議会第6回臨時会
- 11月29日 第8回町青少年の主張大会
(役場)
- 11月30日～12月1日 議員視察研修
(群馬県)
- 12月4日～5日 静岡県市町村駅伝大会、応援と表彰式
(静岡市)
- 12月9日 議会運営委員会

～私も一言～

「郷土発展の起爆剤に」
 商工会青年部に仲間入りして7年が過ぎました。商工会青年部活動とは、将来の河津町を担う若手経営者及び後継者が集う場として、部員同士が「信頼関係の中で刺激しあいながら切磋琢磨出来る環境」であると日頃から感じております。
 この恵まれた環境の中、我々商工会青年部では、若い柔軟な「発想力と企画力」そして「実行力」をもって行動を起こせば、地域発展

に貢献できるのではないのでしょうか。

今後の河津町は「河津桜」だけでなく、山や海の自然環境や人的資源にも恵まれており、我が郷土をもっと有効活用していくことを様々な分野において、青年部員一同で考えていきたいと思っております。

今後商工会青年部が、我が郷土の発展の起爆剤になれる存在と信じ、今後も積極的な活動を展開して参ります。

河津町商工会青年部
 副部長 飯田 敏 晶

編集後記

昨年は1市3町の合併破綻、自民党から民主党への政権交代と大きな変化の年でした。不透明な難しいこの局面を、みんなで力をあわせ、乗り切って行かなければなりません。

今回の議会だよりから、紙面が変わりました。文字がひと回り大きくなりました。町民の皆さんと、議会をつなぐ広報誌として、読みやすい議会だより、見やすい議会だよりを目指して更に努力して参ります。(山田)